

令和8年6月1日公表

新ひだか町下水道事業業務状況説明書

令和7年度下半期
(令和7年10月1日～令和8年3月31日)

令和8年度当初予算

令和7年度下半期の経営状況

1. 経営の概況	-----	1 ~ 2
2. 令和7年度補正予算の状況	-----	3 ~ 4
3. 予算執行状況及び経理状況	-----	5

令和8年度当初予算の状況

1. 当初予算の内容	-----	6
2. 令和8年度の業務予定量	-----	7
3. 令和8年度当初予算の状況	-----	7 ~ 8

令和7年度下半期の経営状況

1. 経営の概況

(1) 総括事項

【公共下水道事業】

令和7年度の下半期公共下水道事業の動向は、前年度同期と比較して0.08%、有収水量においては512m³減少となりました。また、過去3年における前年度同期との比較では、令和4年度では3.06%、令和5年度では1.26%、令和6年度では1.48%の減少となっています。用途別では前年度対比、一般用で0.78%、団体小口で1.83%の減少、団体大口で2.84%、浴場用では29.85%増加となっております。

【特定環境保全公共下水道事業】

令和7年度の下半期特定環境保全公共下水道事業の動向は、前年度同期と比較して4.92%、有収水量においては4,840m³増加となりました。また、過去3年における前年度同期との比較では、令和4年度では4.35%、令和5年度では0.06%、令和6年度では2.24%の減少となっています。用途別では前年度対比、一般用で2.48%の減少となり、団体小口で15.09%、団体大口で16.51%、浴場用で25.36%増加となり。一般用以外の用途で前年の有収水量から大きく増加しています。

令和7年10月1日～令和8年3月31日

(単位:m³・%)

事	項	区 分	一 般 用	団 体 小 口	団 体 大 口	浴 場 用	そ の 他	計
下 半 期	令 和 7 年 度	公 共	454,119	67,472	117,391	4,759	0	643,741
		特 環	63,575	10,083	14,052	15,551	0	103,261
		計	517,694	77,555	131,443	20,310	0	747,002
	令 和 6 年 度	公 共	457,706	68,729	114,153	3,665	0	644,253
		特 環	65,194	8,761	12,061	12,405	0	98,421
		計	522,900	77,490	126,214	16,070	0	742,674
	増 減	公 共	△ 3,587	△ 1,257	3,238	1,094	0	△ 512
		特 環	△ 1,619	1,322	1,991	3,146	0	4,840
		計	△ 5,206	65	5,229	4,240	0	4,328
	増 減 比 率	公 共	△ 0.78	△ 1.83	2.84	29.85	0.00	△ 0.08
		特 環	△ 2.48	15.09	16.51	25.36	0.00	4.92
		計	△ 1.00	0.08	4.14	26.38	0.00	0.58

(2) 収益的収入及び支出

【公共下水道事業】

収入予算の補正としては、営業収益において下水道使用料の減少等や物価高騰対策に伴う2か月の基本料金免除事業等により当初予算に対し28,245千円の減額、営業外収益では免除事業実施に伴う他会計補助金の増加等により21,376千円の増額となりました。これらにより事業収益総額で当初予算と比較し、最終予算では6,869千円減額の642,434千円となっております。

支出予算の補正としては、営業費用では減価償却費等の増加により当初予算に対し2,502千円の増額となり、営業外費用では金利の利率改定に伴う支払利息及び企業債取扱諸費の増加等により2,818千円の増額となりました。これらにより事業費用総額で当初予算と比較して、5,320千円増額の788,969千円の最終予算となりました。

【特定環境保全公共下水道事業】

収入予算の補正としては、営業収益において公共下水道事業と同様の理由により当初予算に対し3,308千円の減額、営業外収益において一般会計補助金の増加により当初予算に対し10,088千円の増額となりました。これにより事業収益総額で当初予算と比較し最終予算は136,650千円となっております。

支出予算の補正としては、営業費用で管渠費や処理場費等は減少したものの、減価償却費の増加により当初予算に対し1,306千円の増額となり、営業外費用では支払利息及び企業債取扱諸費の増加等により1,126千円の増額となりました。これらにより事業費用総額で当初予算と比較し2,440千円増額の237,751千円の最終予算となりました。

(3) 資本的収入及び支出

【公共下水道事業】

収入予算の補正としては、受益者負担金及び分担金が547千円増加しましたが、企業債が2,900千円、補助金が16,949千円、補償金が2,267千円減少し、当初予算と比較して21,569千円減額の321,383千円の最終予算となりました。

支出予算の補正としては、建設改良費の工事請負費等の執行残整理により、資本的支出総額で当初予算と比較して、13,093千円の減額となり、444,412千円の最終予算となりました。

【特定環境保全公共下水道事業】

収入予算の補正としては、企業債及び補助金の減少により、当初予算と比較して74,374千円減額の149,253千円の最終予算となりました。

支出予算の補正としては、建設改良費の工事請負費等の執行残整理により、資本的支出総額で当初予算と比較して、60,584千円の減額となり、198,700千円の最終予算となりました。

予算額ベースで、支出額に対し収入額が172,476千円不足することから、当年度分損益勘定留保資金で補填するものとなります。

2. 令和7年度補正予算の状況

(1) 収益的収入及び支出

収 入		(単位:千円)			
款	項	令 和 7 年 度			
		当 初 予 算	上半期補正額	下半期補正額	計
1.		649,303	0	△ 6,869	642,434
公共下水道事業 収益	1 営 業 収 益	335,186	0	△ 28,245	306,941
	2 営 業 外 収 益	314,117	0	21,376	335,493
2.		129,870	0	6,780	136,650
特定環境保全 公共下水道事業 収益	1 営 業 収 益	45,727	0	△ 3,308	42,419
	2 営 業 外 収 益	84,143	0	10,088	94,231
合 計		779,173	0	△ 89	779,084

支 出		(単位:千円)			
款	項	令 和 7 年 度			
		当 初 予 算	上半期補正額	下半期補正額	計
1.		783,649	1,411	3,909	788,969
公共下水道事業 費用	1 営 業 費 用	701,649	1,411	1,091	704,151
	2 営 業 外 費 用	81,351	0	2,818	84,169
	3 特 別 損 失	649	0	0	649
2.		235,311	0	2,440	237,751
特定環境保全 公共下水道事業 費用	1 営 業 費 用	221,206	0	1,306	222,512
	2 営 業 外 費 用	14,075	0	1,126	15,201
	3 特 別 損 失	30	0	8	38
合 計		1,018,960	1,411	6,349	1,026,720

(2) 資本的收入及び支出

収 入		(単位:千円)			
款	項	令和7年度			
		当初予算	上半期補正額	下半期補正額	計
1.		342,952	0	△ 21,569	321,383
公共下水道事業					
資本的收入	1 企業債	89,900	0	△ 2,900	87,000
	2 負担金	6,337	0	547	6,884
	3 補助金	242,815	0	△ 16,949	225,866
	4 補償金	3,900	0	△ 2,267	1,633
2.		223,627	0	△ 74,374	149,253
特定環境保全					
公共下水道事業					
資本的收入	1 企業債	57,300	0	△ 32,600	24,700
	2 負担金	750	0	20	770
	3 補助金	165,577	0	△ 41,794	123,783
合 計		566,579	0	△ 95,943	470,636

支 出		(単位:千円)			
款	項	令和7年度			
		当初予算	上半期補正額	下半期補正額	計
1.		457,505	271	△ 13,364	444,412
公共下水道事業					
資本の支出	1 建設改良費	156,162	271	△ 13,045	143,388
	2 企業債償還金	301,343	0	△ 319	301,024
2.		259,284	2,464	△ 63,048	198,700
特定環境保全					
公共下水道事業					
資本の支出	1 建設改良費	116,860	2,464	△ 63,023	56,301
	2 企業債償還金	142,424	0	△ 25	142,399
合 計		716,789	2,735	△ 76,412	643,112

3. 予算執行状況及び経理状況

(1) 予算執行の状況（令和7年4月1日～令和8年3月31日）

(単位：千円)

科 目	区 分	予 算 額						執 行 額				翌年度繰越額		残 額	
		取 入 (A)	支 出 (B)	地方公営企業法 第26条の規定 による繰越額に 係る財源充当額 (C)	繰越財 源 (D)	地方公営企業 法第26条によ る繰越額 (E)	繰越額 (F)	取 入 金 額 (G)	収入率%	支 出 金 額 (H)	執行率%	地方公営企業 法第26条によ る繰越額 (I)	繰越額 (J)	取 入 (A)+(C)+(D) -(G)-(I)	支 出 (B)+(E)+(F) -(H)-(J)
収益的収支	公 共	642,434	788,969				642,363	99.99	725,607	91.97	0	0	71	63,362	
	特 環	136,650	237,751				136,919	100.20	236,295	99.39	0	0	△ 269	1,456	
	合 計	779,084	1,026,720				779,282	100.03	961,902	93.69	0	0	△ 198	64,818	
資本的収支	公 共	321,383	444,412		193,000		473,545	92.06	603,809	94.73	40,060	0	778	40,203	
	特 環	149,253	198,700				149,453	100.13	198,458	99.88	0	0	△ 200	242	
	合 計	470,636	643,112		193,000		622,998	132.37	802,267	124.75	40,060	0	578	40,445	

(2) 経理状況（令和7年10月1日から令和8年3月31日）

(単位：円)

区 分	令和7年9月30日 現在残高	総収入	総支出	現金・預金残高
公共下水道事業	10,961,265	613,750,121	601,645,927	23,065,459
特定環境保全 公共下水道事業	4,955,963	180,627,950	173,127,422	12,456,491
合 計	15,917,228	794,378,071	774,773,349	35,521,950

令和8年度当初予算の状況

1. 当初予算の内容

【公共下水道事業】

収益的収支予算について、公共下水道事業収益は昨年度と比較して2,876千円の増額で652,179千円を見込んでおり、主な収益は営業収益では、下水道使用料319,995千円、その他営業収益298千円、他会計負担金10,028千円、営業外収益では、長期前受金戻入231,140千円、雑収益82,770千円、他会計補助金5,948千円となります。

公共下水道事業費用は、昨年度と比較して14,628千円の増額で798,277千円を見込んでおり、主な費用は営業費用では、管渠費17,036千円、処理場費233,726千円、ポンプ場費1,690千円、総係費47,344千円、減価償却費420,844千円、営業外費用では、支払利息及び企業債取扱諸費21,751千円、消費税12,493千円、雑支出42,843千円、特別損失では、過年度損益修正損550千円となります。

一方、資本的収支予算について、公共下水道事業資本的収入は昨年度と比較して90,687千円の減額で252,265千円を見込んでおり、企業債34,500千円、負担金5,663千円、補助金のうち、国庫補助金32,000千円、他会計補助金180,102千円となります。

公共下水道事業資本的支出は、昨年度と比較して115,486千円の減額で342,019千円を見込んでおり、建設改良費72,657千円、企業債償還金269,362千円となります。

【特定環境保全公共下水道事業】

収益的収支予算について、特定環境保全公共下水道事業収益は昨年度と比較して4,642千円の増額で134,512千円を見込んでおり、主な収益は営業収益では、下水道使用料44,905千円、その他営業収益14千円、営業外収益では、長期前受金戻入83,158千円、雑収益22千円、他会計補助金6,413千円となります。

特定環境保全公共下水道事業費用は、昨年度と比較して2,942千円の減額で232,369千円を見込んでおり、主な費用は営業費用では、管渠費2,126千円、処理場費74,616千円、総係費1,273千円、減価償却費141,048千円、営業外費用では支払利息及び企業債取扱諸費13,265千円、雑支出11千円、特別損失では、過年度損益修正損30千円となります。

一方、資本的収支予算について、特定環境保全公共下水道事業資本的収入は昨年度と比較して121,534千円の減額で102,093千円を見込んでおり、企業債400千円、負担金510千円、補助金のうち、国庫補助金1,000千円、他会計補助金100,183千円となります。

特定環境保全公共下水道事業資本的支出は、昨年度と比較して124,155千円の減額で135,129千円を見込んでおり、建設改良費8,570千円、企業債償還金126,559千円となります。

2. 令和8年度業務予定量

年度区分	区分	排水戸数（戸）	年間有収水量（m ³ ）	1日平均汚水量（m ³ ）
令和8年度当初	公共	7,090	1,273,800	3,480
	特環	960	200,946	550
	計	8,050	1,474,746	4,030
令和7年度当初	公共	7,140	1,291,700	3,530
	特環	960	203,400	550
	計	8,100	1,495,100	4,080
比較増減	公共	△ 50	△ 17,900	△ 50
	特環	0	△ 2,454	0

3. 令和8年度当初予算の状況

（1）収益的収入及び支出

収 入

（単位：千円）

科 目	令和8年度当初予算額	令和7年度当初予算額	比較増減
1. 公共下水道事業収益	652,179	649,303	2,876
1. 営業収益	330,321	335,186	△ 4,865
2. 営業外収益	321,858	314,117	7,741
2. 特定環境保全公共下水道事業収益	134,512	129,870	4,642
1. 営業収益	44,919	45,727	△ 808
2. 営業外収益	89,593	84,143	5,450
合 計	786,691	779,173	7,518

支 出

（単位：千円）

科 目	令和8年度当初予算額	令和7年度当初予算額	比較増減
1. 公共下水道事業費用	798,277	783,649	14,628
1. 営業費用	720,640	701,649	18,991
2. 営業外費用	77,087	81,351	△ 4,264
3. 特別損失	550	649	△ 99
2. 特定環境保全公共下水道事業費用	232,369	235,311	△ 2,942
1. 営業費用	219,063	221,206	△ 2,143
2. 営業外費用	13,276	14,075	△ 799
3. 特別損失	30	30	0
合 計	1,030,646	1,018,960	11,686

(2) 資本の収入及び支出

収 入

(単位：千円)

科 目	令和8年度当初予算額	令和7年度当初予算額	比 較 増 減
1. 公共下水道事業資本の収入	252,265	342,952	△ 90,687
1. 企 業 債	34,500	89,900	△ 55,400
2. 負 担 金	5,663	6,337	△ 674
3. 補 助 金	212,102	242,815	△ 30,713
4. 補 償 金	0	3,900	△ 3,900
2. 特定環境保全公共下水道事業資本の収入	102,093	223,627	△ 121,534
1. 企 業 債	400	57,300	△ 56,900
2. 負 担 金	510	750	△ 240
3. 補 助 金	101,183	165,577	△ 64,394
合 計	354,358	566,579	△ 212,221

支 出

(単位：千円)

科 目	令和8年度当初予算額	令和7年度当初予算額	比 較 増 減
1. 公共下水道事業資本の支出	342,019	457,505	△ 115,486
1. 建 設 改 良 費	72,657	156,162	△ 83,505
2. 企 業 債 償 還 金	269,362	301,343	△ 31,981
2. 特定環境保全公共下水道事業資本の支出	135,129	259,284	△ 124,155
1. 建 設 改 良 費	8,570	116,860	△ 108,290
2. 企 業 債 元 金 償 還 金	126,559	142,424	△ 15,865
合 計	477,148	716,789	△ 239,641